

日能研	6年		
	算数		
学習内容	5月の学習内容 29 図形のいろいろなとらえ方 30 いろいろな複合図形の面積 31 図形の移動と作図		
家庭学習ポイント	5月は平面図形が主題となります。29回では入試で扱われるさまざまな図形とその性質を確認し、その性質を利用してどのように回答へ結び付けるのかがポイントとなります。一見簡単で面白みのない単元に見えてしまい、本質的な思考を行わずに終了してしまうお子さんが多い単元ですが、難解な図形の問題のヒントとなる性質を捉えることを意識して学習しましょう。30回では求積、複合図形について学習します。特徴的で入試問題にもよく利用される特別な条件にも注意して取り組みましょう。31回は図形の移動です。移動中の軌跡を全て同時に追いかけると間違いやすいですから、移動する頂点とその移動の特徴を捉えて考えましょう。また、移動中に重なりなどがある問題では、重なる瞬間やある辺と辺が交差する瞬間など、特別な状況になる瞬間をとらえて作図することを心がけましょう。32回の図形と比①では、等高図形での辺の比と面積比や、底辺を同じくし高さの異なる図形の面積比などを学びます。相似形だけにとらわれるのではなく、特別な条件に着目して、そこから新たな条件を導く視点を身につけましょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	様々な図形の性質を正しく把握していますか？	チェック
	解決策	とりあえず解くという学習ではなく、問題を通じて何を学べるのか意識した学習を行いましょう	□
	チェック2	「特殊だがよくある条件」を見逃していませんか？	チェック
	解決策	「二等辺三角形」「直角」「正方形(同じ長さの辺)」を見逃さないようにしましょう。	□
	チェック3	三角形の高さに気付かず見逃していませんか？	チェック
	解決策	底辺に対して直角になる辺を見逃すことがないよう、意識して確認しましょう。	□
	チェック4	高さが見つからない問題で手が止まっていますか？	チェック
	解決策	補助線を引くといった行動と、見たことのある形を作り出すことがポイントになります。	□
	チェック5	図形が動いた軌跡を正しく書けますか？	チェック
解決策	回転の場合は回転の中心や角度、平行移動や重なりについては特徴的な瞬間を捉えましょう。	□	
日能研	6年		
	国語		
学習内容	5月の学習内容 29 構成と表現① 30 構成と表現② 31 表現技法の効果		
家庭学習ポイント	29回は体験と感想を読み分ける訓練です。随筆の読解の基本ですね。客観的な情報と主観的な情報の分別に注意しましょう。明示されている情報だけではなく、主観と客観というものさしを使い、文章全体の構造を把握しましょう。30回は引き続き随筆の読解、細部表現の効果についてです。工夫された意図的な表現から得られる情報を整理すること、言葉の背景やニュアンスにも踏み込んで、なぜこの表現を使ったのか、この表現からわかる事実とは何か、この文章の主題は何かと意識しながら学習に取り組みましょう。31回は表現技法の効果。工夫された表現技法について知る事、使えるようになることと、その表現技法から読み取ることのできる文章内での役割や効果について学びましょう。32回は情景や主題をまとめる。過去2回で学んだ細部表現や表現技法をもとに、文章全体に流れる情景や、取り扱われている主題を捉える訓練です。		
課題の把握と解決策	チェック1	主観と客観の違いを正しく理解していますか？	チェック
	解決策	主観的、客観的という言葉の意味を確認した後、情報を丁寧に分別しましょう	□
	チェック2	言葉が持つ背景やニュアンスを知っていますか？	チェック
	解決策	丸暗記だと使えない知識になりますから、どんな場面で使うのかを確認していきましょう	□
	チェック3	様々な表現技法を普段から使っていますか？	チェック
	解決策	学んだ表現技法を使って、短めの文章を作成してみましょう	□
	チェック4	心情を表現する言葉を整理していますか？	チェック
	解決策	喜怒哀楽の何を表現しているのか照らし合わせながら読み解いていきましょう	□
	チェック5	文章の主題を捉えていますか？	チェック
解決策	要するに何について書かれているのか、ざっくりいうと何について述べた文かを考えましょう	□	

日能研	6年		
	理科		
学習内容	5月の学習内容 29 水溶液 30 中和 31 熱と燃焼		
家庭学習ポイント	29回は水溶液。何が溶けてどんな性質になっているのか、まずは分類できることが大前提です。テキストを丸暗記するのではなく、共通する特徴や全く異なる特徴などを整理し、いつでも記憶から引き出せるようにしておきましょう。また、溶解度などの表やグラフの読み取りにも注意が必要です。変化の瞬間をに注目しましょう。30回も水溶液ですが、酸とアルカリ、中和反応について学びます。いわゆる化学変化の実験ですから、実験器具は全て正しく扱うことが前提で、言葉の式を用いて条件を整理しましょう。また、こちらでもグラフの読み取りがキモとなります。まずは「ちょうど中和した点」を見つけ出すことを心がけましょう。31回は熱と燃焼です。燃焼自体が、ある物質と酸素の化合反応ですから、中和と同じく言葉の式が大切です。「過不足なく反応する組み合わせ」に注目しましょう。32回は音の性質と音速についてです。音がどのように伝わるのか、どんな性質を持っているのかなど、知識面の確認もしておきましょう。また、音の問題でも情報整理がキモとなります。算数の速さの問題と基本的には同じですが、単位に注意して取り組むようにしましょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	様々な水溶液を分類できますか？	チェック
	解決策	分類できることが多くの問題で大前提ですから、性質や特徴別に整理して理解しておきましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック2	表やグラフの読み取りができていますか？	チェック
	解決策	変化＝グラフの折れ曲がりの瞬間に注目し、その前後でどんな条件が変わったのかを確認しましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック3	言葉の式を使って化学反応の条件を整理できますか？	チェック
	解決策	中和や燃焼といった現象を言葉の式で書き、過不足なく反応するところを探しましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック4	熱の伝わり方を覚えていますか？	チェック
	解決策	燃焼による発熱がどのように周りへ伝わるのか、現象を正しく理解しておきましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック5	音の性質を把握していますか？	チェック
解決策	与えられた情報を元に、問われた内容に沿って整理して解答しましょう	<input type="checkbox"/>	
日能研	6年		
	社会		
学習内容	5月の学習内容 29 天下統一と江戸幕府 30 江戸幕府のおとろえと開国 31 明治維新と憲法発布 32 日清日露戦争と条約改正		
家庭学習ポイント	29回は戦国時代から天下統一、江戸幕府について学びます。激動の歴史の流れを、それぞれの立場からとらえ直してみましよう。また、登場人物の成そうとしたこと、目的とそのための手段を意識して学ぶことが大切です。30回は江戸幕府のおとろえと開国です。当時の状況を情報のみの丸暗記をするのではなく、国内で起こっていたこと、国外で起こっていたことを同時に把握して、内部要因、外部要因双方から考えると、立体的な知識が得られます。31回は明治維新と憲法発布です。この回も同じく内部要因、外部要因からのアプローチと、当時活躍した人物が何を目的として、どんな手段で何を行ったのかに注目して下さい。登場人物が多く複雑なので、自分で人物の相関図を作ってもいいでしょう。32回は日清・日露戦争と条約改正です。外交手段としての戦争を捉え、戦争によって得たもの、失ったものに注目しましょう。また、戦った双方の国の成そうとしたことを把握しておきましょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	天下統一とその後の江戸幕府までの主要人物を知っていますか？	チェック
	解決策	良く問われ、それぞれの人物のキャラクターも特徴的ですから確認しておきましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック2	江戸時代の主要な将軍を覚えていますか？	チェック
	解決策	それぞれの時代の特徴的な出来事や活躍した人物と共に、将軍の名前も覚えておきましょう。	<input type="checkbox"/>
	チェック3	江戸時代の日本と、同じ時代の世界の情報を知っていますか？	チェック
	解決策	世界史の詳細ではなく、大まかに世界でどのようなことがあったのかも関連して知識をつけましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック4	明治維新の前後で何が大きく変わったのか把握していますか？	チェック
	解決策	なぜ明治維新が起こったのか、それによって何が大きく変わったのかをまとめてみましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック5	日清・日露戦争の背景と世界での日本の立ち位置を知っていますか？	チェック
解決策	当時の世界全体で起こっていたこと、日本が開国以降直面した状況を知り、戦争を学びましょう	<input type="checkbox"/>	